

# 美術館を 教育に!

大分県芸術文化スポーツ振興財団では、学校や地域、関係機関と連携しながら美術館を教育に活用する取り組みを、国の助成などにより進めています。今回は大分県立美術館が開館以来行っている、地域美術館体験講座の「地域まるごと美術館(竹田展)」と、教育委員会との連携による小学4年生招待事業についてご紹介します。

## 地域まるごと美術館(竹田展) ～絵の中の旅～ふるさと・名所・世界へ～



6/12(水)

### 地域美術館体験講座 地域まるごと美術館 竹田市総合文化ホール グランツたけた 多目的ホール

竹田は奥豊後の中心地で古くから内陸交通の要衝として栄えたことから、往来する旅人によって積極的な文化交流が行われていました。今回はその竹田市での開催ということで、「旅」をテーマに、大分県立美術館のコレクションの中から、画家たちが旅の中で描いた大分や異国の風景など、厳選した28点を展示しました。オープニングセレモニーには竹田市立竹田小学校の3年生25名が参加。テープカットの後に5つの班に分かれ、ガイドスタッフに導かれながら会場へ。作品の中には、竹田市や別府市など、大分の風景が描かれたものも並び、大分市出身の画家・高山辰雄「限りなき大分 昔を歩く(竹田市・岡城址)」の前では、ガイドの「これはどこでしょう?」の問いかけに「岡城だ!」と即答する子どもも。左上に描かれた丸が太陽なのか月なのかなど、議論を交わす姿も見られました。日名子実三の彫刻作品「フランスの女」については、学芸員が解説を担当しました。作品にライトを当てることで分かる、大理石のキラキラとした質感や削るための道具の紹介、硬い素材で髪の様子を柔らかく表現する方法などを説明すると、子どもたちは様々な角度から作品を鑑賞し、自分たちが粘土で作品を制作する際のヒントを見つけっていました。1時間ほどじっくり作品を鑑賞し、全員がお気に入りの作品を見つけられたようで、「岡城の絵が一番良かった」「好きな色の絵を見つけられた」など最後にそれぞれが感想を用紙に記入していました。



## 県内の小学4年生を県立美術館に招待 ～県教育委員会との連携事業～

平成28年度から大分県教育委員会義務教育課と大分県立美術館が連携して、県内の小学校4年生を招待、県立美術館のコレクションを使って、児童による主体的で対話的な鑑賞を推進する事業を行っています。グループごとにガイドスタッフが付き、子どもたちが美術館内を回って感じたことを言葉や態度で表現する支援をします。

子どものころに優れた作品を鑑賞し、感じたことを言葉や態度で表現する体験することで、豊かな感性を育成します。これからも、多くの学校に美術館を活用してもらおう活動を推進していきます。



過去の小学4年生の美術鑑賞の様子